

## 請願第21号

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を  
国に提出することを求める請願

### 1 趣 旨

2019年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現在「原則1割」の75歳以上高齢者の医療費窓口負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」と強調し、「一定所得以上」の人を対象とした「2割負担」を導入することを盛り込んだ。今後、「団塊の世代」が75歳以上になり始める2022年度までに実施できるよう法制上の措置を講じるとしている。

同中間報告は、「社会保障のため」として、消費税を10%にまで引き上げながら新たな負担を高齢者に押しつける内容である。これでは高齢者の生活はますます苦しくなってしまう。さらに、コロナ禍によって困窮が全世代に広がっている。特に「公的年金だけでは生活できない」と非正規雇用で就労収入を得ながら、ぎりぎりの生活をしていた人たちがコロナ禍によって仕事を失い、瞬く間に困窮に陥っている。

「負担能力に応じたものへと改革していく」というのなら、高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきである。また、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきである。

後期高齢者の医療費窓口負担2割化は、受診控えとそれによる重症化を引き起こし、高齢者の暮らしと命、健康を守る上で大きな影響を及ぼす。全ての住民の受療権を守るため、下記の事項を請願する。

### 記

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出してほしい。

### 2 提 出 者

福井県社会保障推進協議会 代表委員 平野治和 ほか2人

### 3 紹 介 議 員

佐藤正雄

### 4 受 理 年 月 日

令和2年11月25日